

令和3年10月12日(火)に、名古屋市立当知小学校で「庄内川の自然環境」と「水害と防災」をテーマとした授業の支援を行いました。授業では、児童が庄内川に生息する水生生物の観察や庄内川の水質計測などを体験をすることで河川環境の大切さを学びました。また、全国で発生しているさまざまな水害について、実際に水害を経験したことがない世代である児童に、近年の大規模水害や東海豪雨の被害の様子を知ってもらい、水防災は、「事前の備え」や「自らの命は自らで守る」という意識をもった行動が重要であることを伝えました。

環境学習 ～水生生物の観察～



環境学習 ～お魚タッチ～



環境学習 ～水質計測～



防災学習～近年の大規模水害の説明～



【参加した児童：2年生64名】
★児童たちの感想
 ・ウナギのゆるゆるにびっくりしました。
 ・庄内川に自分も行ってみたいです。
 ・魚が飛び跳ねて、びっくりしました。
 ・水道の水より川の水の方がきたないのに、びっくりしました。
 ・水害の時に、ふねがこげるくらいの水があって、おどろきました。
 ・21年前の庄内川は大変だったんですね。
 ・たくさんの体験をさせてもらい、ありがとうございました。
 ・とてもおもしろかったです。 など

防災学習 ～『自らの命は自らで守る』～



※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用、消毒、検温等の対策を行い、開催しました。